



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 元気寿司株式会社

上場取引所 東

コード番号 9828 URL <http://www.genkisushi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 法師人 尚史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 齋藤 義範

TEL 028-632-5711

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	30,131	17.3	1,297	88.6	1,313	106.7	719	131.8
29年3月期第3四半期	25,697	6.9	687	31.6	635	38.0	310	54.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 726百万円 (122.8%) 29年3月期第3四半期 326百万円 (51.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	81.48	
29年3月期第3四半期	35.14	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	21,678	7,056	32.5
29年3月期	20,141	6,445	32.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,056百万円 29年3月期 6,445百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		3.00		7.00	10.00
30年3月期		6.00			
30年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,860	14.1	1,370	23.8	1,380	33.5	700	59.1	79.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	8,882,908 株	29年3月期	8,882,908 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	54,469 株	29年3月期	54,202 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	8,828,649 株	29年3月期3Q	8,828,798 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な政治経済の不確実性の高まり等、先行き不透明な状況が続くものの、政府の各種政策等の効果もあり、緩やかな回復基調で推移しました。

外食産業におきましては、消費者の節約志向・低価格志向の高まりに加え、労働力不足を背景とした人件費の増加や原材料価格の上昇、業種を超えた競争の激化等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で当社グループといたしましては、“回転寿司を超える寿司レストランの創造”の基本方針のもと、「『回転しない寿司』の進化と拡大」「人材育成と組織力の強化」をキーワードに、他社との差別化を図り、より一層の顧客満足度向上に、全社一丸となり努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高301億3千1百万円（前年同期比17.3%増）、営業利益12億9千7百万円（前年同期比88.6%増）、経常利益13億1千3百万円（前年同期比106.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億1千9百万円（前年同期比131.8%増）となりました。

なお、平成29年9月29日の「元気寿司株式会社、株式会社神明及び株式会社スシローグローバルホールディングスの資本業務提携に関するお知らせ」のとおり、3社間で資本業務提携契約を締結しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (国内事業)

国内事業におきましては、店舗収益力とブランド力の向上のため、外食の基本であるQSCの強化に改めて取り組むとともに、各種営業政策を実施してまいりました。

仕入面につきましては、原材料の値上げが相次ぐ中、メニュー構成を見直すほか、店舗における食材等の在庫管理水準の向上に取り組み、仕入価格上昇の影響を最小限に抑えてまいりました。また、商品開発では本物志向で取り組み、寿司メニューの更なる充実と品質向上を図りつつ、セットメニューやサイドメニュー等の開発も積極的に行い、幅広いお客様のニーズに対応してまいりました。

店舗展開につきましては、「回転しない寿司」の出店及び改装に経営資源を集中し、この同型店舗数の拡大に引き続き注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新設店12店舗を出店し、不採算店等7店舗を退店したことにより、総店舗数は153店舗となりました。また、改装等につきましては9店舗実施いたしました。

この結果、国内事業の業績は、売上高245億5千2百万円（前年同期比14.5%増）、セグメント利益6億3千1百万円（前年同期比148.9%増）となりました。

## (海外事業)

海外事業におきましては、フランチャイズ先との良好な関係維持と新規出店の促進を図るため、国内最新店舗のシステムと技術を世界へ向けて発信するとともに派遣指導等を充実し、季節メニューの紹介や食材の販売強化に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、米国1店舗、シンガポール1店舗、香港6店舗、中国7店舗、インドネシア6店舗、フィリピン2店舗、オーストラリア1店舗を出店し、また、米国1店舗、香港5店舗、中国2店舗を退店したことにより、総店舗数は175店舗となりました。

この結果、海外事業の業績は、売上高55億7千9百万円（前年同期比31.1%増）、セグメント利益7億9千7百万円（前年同期比63.6%増）となりました。なお、売上高は子会社の売上、フランチャイズ先への食材等売却売上、フランチャイズ先からのロイヤリティ収入等であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ15億3千6百万円増加し、216億7千8百万円となりました。負債合計は前連結会計年度末に比べ9億2千5百万円増加し、146億2千2百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億1千1百万円増加し、70億5千6百万円となりました。この結果、自己資本比率は0.5ポイント上昇し、32.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年10月27日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,477,316	4,400,813
売掛金	621,569	565,188
商品及び製品	466,201	691,343
原材料及び貯蔵品	72,229	113,073
その他	675,579	679,165
貸倒引当金	△6,998	△6,458
流動資産合計	5,305,897	6,443,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,369,833	8,840,042
土地	728,824	728,824
リース資産	6,815,271	7,158,602
その他	1,673,915	1,506,437
減価償却累計額	△7,889,465	△8,043,442
有形固定資産合計	9,698,378	10,190,463
無形固定資産		
のれん	255,092	—
その他	232,869	236,931
無形固定資産合計	487,962	236,931
投資その他の資産		
差入保証金	3,294,663	3,540,593
その他	1,355,780	1,268,222
貸倒引当金	△921	△888
投資その他の資産合計	4,649,522	4,807,928
固定資産合計	14,835,864	15,235,323
資産合計	20,141,761	21,678,449

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,583,883	1,925,229
1年内返済予定の長期借入金	1,324,532	1,245,001
未払法人税等	272,000	268,500
賞与引当金	206,000	113,000
転貸損失引当金	7,560	7,560
資産除去債務	5,267	13,760
その他	3,144,778	3,205,875
流動負債合計	6,544,021	6,778,926
固定負債		
長期借入金	2,445,703	2,750,130
リース債務	3,944,074	4,352,887
転貸損失引当金	42,870	37,200
資産除去債務	544,373	552,730
その他	175,386	150,242
固定負債合計	7,152,407	7,843,190
負債合計	13,696,429	14,622,117
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,151,528	1,151,528
資本剰余金	1,344,671	1,344,671
利益剰余金	4,115,706	4,720,276
自己株式	△73,754	△74,711
株主資本合計	6,538,151	7,141,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	396
為替換算調整勘定	△92,993	△85,829
その他の包括利益累計額合計	△92,819	△85,432
純資産合計	6,445,332	7,056,332
負債純資産合計	20,141,761	21,678,449

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	25,697,167	30,131,674
売上原価	10,775,474	12,582,944
売上総利益	14,921,693	17,548,730
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	7,105,617	7,916,294
賞与引当金繰入額	107,000	113,000
その他	7,021,162	8,221,876
販売費及び一般管理費合計	14,233,779	16,251,171
営業利益	687,914	1,297,559
営業外収益		
受取利息及び配当金	18,049	20,573
受取賃貸料	30,196	31,659
受取手数料	52,728	47,843
その他	6,346	28,033
営業外収益合計	107,320	128,110
営業外費用		
支払利息	83,242	86,102
賃貸費用	18,387	23,584
転貸損失引当金繰入額	52,320	—
その他	5,844	2,759
営業外費用合計	159,794	112,446
経常利益	635,440	1,313,223
特別利益		
子会社株式売却益	—	127,140
賃貸借契約解約損戻入益	78,746	—
特別利益合計	78,746	127,140
特別損失		
固定資産除却損	14,014	20,043
減損損失	149,045	213,377
賃貸借契約解約損	20,740	34,284
特別損失合計	183,799	267,705
税金等調整前四半期純利益	530,386	1,172,658
法人税、住民税及び事業税	234,199	453,669
法人税等調整額	△14,098	△353
法人税等合計	220,100	453,315
四半期純利益	310,286	719,342
親会社株主に帰属する四半期純利益	310,286	719,342

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	310,286	719,342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	772	222
為替換算調整勘定	15,139	7,164
その他の包括利益合計	15,911	7,387
四半期包括利益	326,197	726,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	326,197	726,729

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,440,312	4,256,855	25,697,167	—	25,697,167
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	21,440,312	4,256,855	25,697,167	—	25,697,167
セグメント利益	253,729	487,545	741,275	△53,361	687,914

(注) 1. セグメント利益の調整額△53,361千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び退店予定の店舗等について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において149,045千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間より、GENKI SUSHI SINGAPORE PTE. LTD. の株式取得に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては255,092千円であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,552,147	5,579,527	30,131,674	—	30,131,674
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	24,552,147	5,579,527	30,131,674	—	30,131,674
セグメント利益	631,644	797,385	1,429,029	△131,470	1,297,559

(注) 1. セグメント利益の調整額△131,470千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内事業」「海外事業」のセグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び退店予定の店舗等について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において国内事業157,187千円、海外事業56,190千円であります。